

# 利島

島全体が椿林に覆われた  
自然豊かな島



## 利島はどこにあるの？

位置：都心から南に134km

面積：4.12km<sup>2</sup>

### アクセス

航路：竹芝-利島（東海汽船）高速船で約

2時間25分/大型客船で約7時間35分

空路：大島空港-利島ヘリポート（東邦航空）ヘリコプターで約10分

TOSHIMA

OGASAWARA Islands



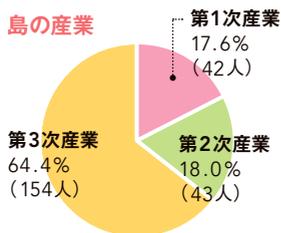
## information

### 島の人々

人口：337人

世帯数：194世帯

### 島の産業



### 公共施設

役場：1

医療機関：1

小学校：1

中学校：1

### 利島村の特産物

水産生鮮品：イセエビ、サザエ、タカベ

水産加工品：岩のり、ハバノリ、トサカノリ

農林産生鮮品：サクユリ、アシタバ、シドケ

農林産加工品：椿油、食用椿油

### 利島村のシンボル

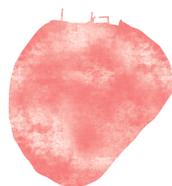
花：サクユリ

木：ツバキ

鳥：メジロ



利島名物の  
特大サザエ。





## 近くて遠い島

大島の次に都心から近く、伊豆諸島の有人島では式根島の次に小さい利島は、ひとつの島で利島村を形成しています。島の周囲は断崖絶壁のため湾がなく、着岸できる港の整備が困難でした。このため、はしけ（陸と本船の間を往復し乗客や荷物を運ぶ船）が必要で、長らく渡航に多くの労力を必要としました。

しかし、1981（昭和56）年に定期船の桟橋接岸が開始されるようになると、ようやくはしけは廃止されました。港にほど近い「はしけと海の歴史広場」を訪れると、実際に使われていたはしけや海の歴史を物語る資料から、先人たちの苦勞を知ることができます。

## 今も残る信仰の歴史

利島は、伊豆諸島の中で三宅島について中世和鏡が多く発見されています。多くの和鏡が伊

豆諸島に残っていることから、島々に独特な鏡への信仰があったと考えられています。東京都の有形文化財の指定も受けているこれらの出土品は、利島村郷土資料館で見学が可能です。

また、島内には7つの神社とひとつのお寺があります。大晦日、利島の氏神様である阿豆佐和気命神社の境内で歌われる「ジツクワ火」の歌は、島に新しい年の訪れを知らせます。

## 島の面積の8割がツバキ

島の基幹産業であるツバキの栽培は江戸時代から続いています。栽培面積は長崎県五島列島や伊豆大島に比べて小さいですが、島内で取れた実を100%使った椿油は、品質で高い評価を得ており、生産量は日本一を誇っています。

ツバキの種。



# 椿油生産量日本一の利島

## 利島の椿油ができるまで



苗木を植えてから、ツバキの種を収穫するまでは約30年かかります。利島で植えるツバキはすべて化学農薬不使用です。



**1～3月**

島中でツバキの花が咲き誇ります。



**4～9月** 4月頃から実が肥大し始め、8～9月頃に種が成長します。



**6～9月**

下草刈りを行い、収穫に向けて準備をします。



**10月頃**

完熟した後、固い殻がはじけて種が地面に落下します。



**10～4月**

落ちた種を生産者がひと粒ひと粒拾い集めます。



※完熟直前の実を収穫している農家もいます。



**11～5月**

収穫した種を乾燥させ、搾油機で原油と絞り滓に分けます。原油は品質保持のためさらに脱酸し、その後数回の濾過工程を経て、椿油製品になります。



段々畑に広がるツバキのじゅうたん。

利島は江戸時代から200年以上に渡って椿油を生産してきました。大規模な植林が行われた結果、島の面積の約80%にヤブツバキが植えられています。ツバキは12月中旬から3月中旬が見頃です。地面が花びらで染まる風景は「ツバキのじゅうたん」と表現され冬の利島を彩ります。

春から秋にかけては、ツバキの実が地面に落ちたときに拾いやすいよう下草を刈ります。年に数回刈る必要があります。斜面の多い椿畑の作業は重労働です。現在、利島の椿農家

は40世帯ありますが、平均年齢は69歳。後継者不足もあり、どのように椿産業を維持していくか課題となっています。

島では椿農家の経営力を高めるために収穫したツバキのデータを分析し、付加価値の高い産業にすることで、椿農家の就業者増にもつなげていきたいと考えています。

また、ここ数年大学生のボランティアサークルが下草刈り作業を手伝っています。若い学生たちの存在が椿農家の皆さんの励みにもなっています。



## 利島の人々と7つの神社



利島の島民は大変信仰が厚く、小さな島内に7つも神社があります。「神社明細帳」という神社の台帳を記した資料によれば、利島は事代主命の王子である阿豆佐和気命によって創られたとされ、現在は集落内の西側に明神様として祀られています。



明神様

### あずさわけのみことじんじゅ 阿豆佐和気命神社

阿豆佐和気命本宮と下上神社が参拝に不便なことから、約500年前に村の鎮守も兼ねて現在の場所に遷宮。



一番神様

### あずさわけのみことほんぐう 阿豆佐和気命本宮

利島の氏神様で、伊豆諸島を造ったといわれる事代主命の子の阿豆佐和気命を祀っています。創建年代は不明。



二番神様

### おやまこやまじんじゅ 大山小山神社

参拝時、二番目にお参りする風習から「二番神様」、もしくは「山神様」と呼ばれる神社。大山抵命を祀っています。



三番神様

### おりのぼりじんじゅ 下上神社

阿豆佐和気命の妃の下上命を祀る神社。参拝者や宮塚山の登山者は、安全無事に下山できたお礼に参拝します。

利島の島民は正月三日に、お米とお神酒を持って阿豆佐和気命本宮（一番神様）、大山小山神社（二番神様）、下上神社（三番神様）に参拝します。山廻りは昔ながらの島の生活と素朴な信仰をたどる道といえるでしょう。

利島ならではの風習は、大晦日の阿豆佐和気命神社でも見られます。23時頃になると境内に氏子や各家の戸主が集まり、ジックワ火という、氏子が収めた御札の焚き上げを囲んで年明けを待ちます。午前0時を過ぎると御札に火が点いて、ジックワ火の歌を歌い、終わると一般の参賀が許されます。ほかにも航海安全を祈願した浜宮神社や流鏝馬神事が行われていた八幡神社、明治時代初めに神明社・大六天社・神宮社・熊野三社を合祀し創建された堂山神社があります。



水が貴重なため竹を結い幹を伝わる雨水を貯める。



大晦日の夜、境内でジックワ火の歌を歌う。



### はちまんじんじゅ 八幡神社

強弓で知られる源為朝の故事に由来する、伊豆諸島唯一の流鏝馬神事が800年余り行われていました。馬に乗らない歩射が特徴で、当時の様子が郷土資料館に展示されています。

### どうやまじんじゅ 堂山神社

集落内で一番山よりの、都道沿いにある神社で、様々な神様を合祀しています。敷地内から12世紀後半～16世紀後半の祭祀に使われたと思われる陶磁器類や和鏡が出土しています。



## 特大のイセエビとサザエ



利島近海は潮の流れが速いので、そこで採れる魚介類は身がしまっていて美味しいと評判です。また、乱獲をせず資源を守り育てる漁業を推進しているため、特大サイズのイセエビやサザエが水揚げされています。一般的にはイセエビは300g、サザエは200gほどで大サイズとして扱われるようですが、利島の場合はイセエビは200～600g、サザエは350g前後が標準サイズとされます。

※イセエビは6～8月、サザエは7～8月が禁漁です。

## 世界最大級のサクユリが自生

サクユリは伊豆諸島だけに自生しているヤマユリ的一种。カサブランカの交配親のひとつで、大きいものは草丈2m以上、花径30cmほどに成長し、世界最大のユリといわれています。見頃は梅雨の時期で、利島港を上った集落の東西にサクユリの栽培地があり、周辺を散策するコースもあります。ちなみに、ユリ根のでんぶんと米を合わせて製造しているのが、利島名産の「さくゆり焼酎」です。



## 利島の人々の暮らし

### 近くて遠いと言われる理由



竹芝桟橋から最短で約2時間半の近距離ながら、冬は西風の影響のため高速ジェット船の就航率は5割を下回ります。

### 坂の島



利島の集落は、比較的傾斜の緩やかな島の北側にありますが、集落内であっても徒歩ではきつい坂道が多いです。

### 椿農家は漁師!?



利島の椿農家は兼業が一般的です。漁業のかたわら、ツバキの栽培にも取り組んでいる世帯が多いです。

## 利島のビュースポット

### 宮塚山展望台



利島で最も高い標高508mの宮塚山に造られた展望台で、晴れた日には富士山や伊豆半島を望むことができます。

### 南ヶ山園地



宮塚山の南側に位置する展望台で、天気良ければ三宅島や御蔵島などが望める景色は、「新東京百景」にも選ばれています。

### ウスイゴ園地



発掘された銅鏡をかたどった池や、当時の住居をモデルにした東屋があります。島の東側に位置し日の出が見られます。



利島で使われていた「はしけ」や海の歴史を物語る資料を展示。



利島はドルフィンスイムとダイビングを両方体験できる非常に珍しい場所。

**島内アクセス**  
レンタカーなし

**島の窓口**



**利島村産業・環境課**

〒100-0301  
東京都利島村248



小学校前にある幹周4.4m、高さ30mのクロマツ。



島内から発掘された銅鏡や八幡神社の流鏝馬など多数展示。



館内には2レーンのボウリング場があり、2019年に設備をリニューアル。

**島めぐりコース**

**【1日目】**

**午前** 利島港に到着 → 民宿の車で宿へ。休憩 → 宮塚山トレッキング (宮塚山展望台)  
島内には飲食店がないので宿泊する民宿で昼食 (要予約)

**午後** 島内を散策 (阿豆佐和気神社、利島村郷土資料館、東京島しょ農業協同組合利島店など)

**【2日目】**

**午前** 民宿で車を借りて神社と展望スポットめぐり (阿豆佐和気命本宮、南ヶ山園地、大山小山神社、ウスイゴウ園地、上下神社)、初夏はサクユリ、冬はツバキのじゅうたんを満喫

**午後** 利島港から出港